

## 矢沢地区における義務教育学校設置に係るこれまでの経緯

## 1 花巻市教育委員会が「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定（平成31年4月）

学校規模の縮小という状況を踏まえた「学校統合の検討」に加えて、花巻地域や石鳥谷地域においては「小中一貫校の導入」についても併せて検討を行うことを明記

## 2 矢沢中学校PTA主催の教育懇談会を開催（令和元年9月）

参加者から「中学校だけではなく、小学校の校舎も老朽化が進んでいる状況で、2校とも改築もしくは長寿命化改修することを考えると、小中一貫校の導入を検討することが必要ではないか。」という意見

令和元年11月、矢沢地域振興会から花巻市長に対し、矢沢小学校の改築についての要望書が提出され、小中一貫校の導入の可能性と併せて施設整備についても慎重に検討する旨回答

令和3年1月、矢沢小学校・中学校PTA合同教育懇談会を開催

## 3 矢沢小中PTA役員と両校の校長、副校長で構成する「矢沢小・中PTA学校の在り方検討委員会」（以下、検討委員会）を組織（令和3年7月）

矢沢地区の未来を担う子どもたちの義務教育9年間が、どうあるべきかという視点から、矢沢の子どもたちの教育にとってより良い教育環境を充実させることを目的とする

## 4 検討委員会で県内の3校を視察（令和4年8月～11月）

- ① **紫波東学園** 小学校5校の小規模化による教育環境の整備を背景とした、紫波東小学校（彦部小学校、星山小学校、佐比内小学校、赤沢小学校、長岡小学校の5校が統合）と紫波第二中学校との施設一体型小中一貫校
- ② **盛岡西峰学園** 周辺の市街地化による児童生徒の増加と校舎改築の必要性の高まりを背景とした、土淵小学校と土淵中学校との施設一体型小中一貫校
- ③ **大槌学園** 東日本大震災による被災からの復興や各小学校の小規模化、校舎改築の必要性の高まりを背景として、安渡小学校、赤浜小学校、大槌小学校、大槌北小学校の5校が大槌小学校として統合した後、平成27年に大槌小学校と大槌中学校での小中一貫校を開校し、平成28年に県内初の義務教育学校に移行

## 5 検討委員会で義務教育学校設置という方向性を示し、PTAや地域に報告（令和5年1月～3月）

検討委員会報告会を開催し、視察報告と検討委員会としての方向性を確認

検討委員会視察全体報告会を開催し、矢沢地区には義務教育学校が適しているという方向性を確認、「矢沢小・中学校の在り方についての報告書」を作成

矢沢小中学校PTA全体に報告、さらに検討委員会及びPTAの総意として、矢沢小中学校を義務教育学校に移行する方向性について矢沢地域振興会に報告し、地域としてもこの方針を了承

## 6 「花巻市立矢沢小学校・矢沢中学校を義務教育学校へ移行するための要望書」提出（令和5年4月）

花巻市立矢沢小中学校PTA会長、矢沢地域振興会会長より、市長及び教育長に対して以下を内容とする要望書が提出され、教育長は、「今回の提案を尊重し慎重に対応してまいりたい。」と回答

- ① 矢沢小・中学校を義務教育学校へ移行すること
- ② 老朽化の著しい学校施設環境を改善するために新校舎の建設をすること
- ③ 新校舎建設に伴い、矢沢学童クラブの整備をすること